



会派清新
東元 勝己

地域振興をワンストップで担当する組織の新設を

質問 江部乙地域の日本で最も美しい村連合への加盟内定を受けて、地域振興をワンストップで担当する専門部署の設置について伺う。

答弁 地域振興に関する相談窓口は、総合計画を推進していく企画課が関係する部署と情報共有して進めていくべきと考えています。これまでも江部乙まちづくり研究会や東滝川の地域振興を考える懇談会も企画課がかかわってきました。今後も地域の自主的な取り組みに期待し、地域振興のあるべき姿について考えます。

伝習館自然ガイドの新規採用は

質問 8月末で自然ガイド職員が退職した。伝習館の運営も含め専門の担当者が必要と考えますが、後任の採用について伺う。

答弁 丸加高原伝習館は平成25年度に宿泊機能を休止したため来訪

者が減少しましたが、その後ガイド事業などにより回復の傾向にあります。今回、職員の退職により一部内容の変更が必要になります。が、昨年採用した地域おこし協力隊員も自然ガイド事業のスキルを身につけてきてきているので、新たな企画事業に期待しています。今後は行政の力だけではなく、地域で活動しているさまざまな団体の協力を得て、丸加高原の有効活用を図りたいと考えています。

江部乙図書コーナーの休日開館について

質問 江部乙支所併設の江部乙図書コーナーの日曜・祝日開館の可能性について伺う。

答弁 農村環境改善センターにある図書コーナーは利用者数も平日1日約4人、年間貸出数2、200冊で、多い数字ではありません。現実的に、図書コーナーは施設の構造上改善センターと分離した運営は困難です。今後、改善センターの機能再点検を実施する中で総合的に検討し、併せて江部乙図書コーナーのソフト事業の強化などを検討したいと考えています。



公明党
堀 重雄

地方創生について

質問 アメリカのCCRC（健康時から介護時まで継続的なケアを提供する高齢化社会のシステム）は居住者の健康、地域の雇用、税金収創出、新産業創出の効果があるとされているが、本市のCCRCの取り組みについて伺う。

答弁 総合戦略において、①安心して健康でアクティブな生活を送ってもらう環境づくり、②既存の住宅ストックを有効活用し、多くの方が暮らしやすい環境づくりという2点を大きな柱として、地方からの移住も考慮し、医療、福祉施設の活用、生涯学習のための大学連携など本市の潜在能力を生かしながら滝川らしいCCRCの実現を探していきたいと考えています。

公営住宅の今後のあり方について

質問 高齢化に伴い、今後の公営

住宅の使命も市民の要望にこたえなくてはならないと考える。①エレベーターのない公営住宅で体が不自由になったときの対応、②入居者が介護を必要になったときに、既に公営住宅に住んでいる家族が同じ公営住宅、もしくは近くの公営住宅を希望した場合、③持ち家の方が公営住宅を希望する場合について、現状の対応と今後の取り組みについて伺う。

答弁 公営住宅は生活困窮者の住居提供が基本であり、制度もそのように作成されています。①公営住宅から公営住宅の転居は基本的には認められていません。しかし、身体障がい者で階段室タイプの2階以上に居住しているなど、一定の要件に該当する場合は可能です。②どんな状況でも入居資格に該当することが前提のため、現状の制度では難しいですが、支援側の家族の環境や支援方法などを相談させていただき、制度上可能な範囲で対応している状況です。③持ち家の解体、売買などの契約書の添付が必要です。いずれにしても相談窓口に来ていただきたいと考えています。